

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

翼賛政治会の結成並に大政翼賛
会の改組及各省委員設置に関する意嚮

国立公文書館	
分類	③ ④
排架番号	3 A 15 6-10-2

大日本帝國政府

(一)

翼贊政治會の結成に對する意嚮

翼贊政治會の結成並に大政翼贊會の改組及各省委員設置に關する意嚮

翼贊政治會の結成に對しては一般的に「劃期なる政治力結集の方途が、近々選舉後二旬の間に於て結實し、國內政治体制の一基盤を爲すに至りたるは政府の成功なり」と爲す反面「政府が今日翼政結成の外形的成果を過信して自己陶醉に陥れるが、早晚構成人物の性格的相違より内部分裂等の破綻を見るは必定なり」とするが如き見透を下し居るもの尠からず、一方革新陣營に於ては「翼政の結成を見るに政府は愈々財閥、舊政黨等の現狀維持的既成力との妥協と化し、大東亞戰爭遂行の基本問題たる國內革新の望みは絶えたり」として、革新陣營が革新陣營を輕視し居れりとする點に空氣を藏しつゝあり。即ち革新陣營中には

一、翼政の幹部の類觸を見るに舊態依然たる者の結合にして

国立公文書館

分類

③ ④

配架番号

3 A

15

6-10-2